



きくぐみだより

7月

2022. 7. 1

梅雨に入りジメジメした日が続いています。きく組では少しの晴れ間を見つけては園庭で裸足になり泥だんごを作ったり水たまりに入ったりと泥遊びを楽しんでいます。洋服が汚れてもおかまいなしで大はしゃぎの子どもたちです。保護者の皆様には洗濯等ご迷惑をおかけしますがご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。また、毎日カバンの中を確認されて、洋服や下着など着替えの補充もよろしくお願い致します。



食育

5月の連休明けに植えた野菜もグングン生長してきました。子どもたちは毎日水やりをしたり「葉っぱフワフワするね」「なすびの匂いがする」など、見たり触ったり匂いを嗅いだりして五感で生長を確認しているようです。先日はキュウリやなすびなどを収穫し、給食の先生に調理してもらい食しました。自分たちが作った野菜を食べ、子どもたちはご満悦のようでした。

また、梅ジュース作りにも挑戦しました。梅を洗い爪楊枝でへたを取りました。その後、梅と氷砂糖をびんに入れ最後にりんご酢を入れて完成。毎日、お当番さんがびんを揺らし混ぜる手伝いをしてれています。梅干しがシワシワになり小さくなる様子や氷砂糖が溶け水分が増える様子を観察しながら、飲めるのを楽しみしている子どもたちです。



先生、発表した〜い！

お絵描きや粘土、ブロックなど作った作品は、子どもたちの発想力や想像力が発揮されとても素晴らしいものです。そんな自分の作品をみんなの前で発表する機会をきく組では設けています。張り切って発表してくる子や恥ずかしくて小声で発表する子と様々ですが、お友達の作品を見て、「すごいね」「上手ね」「かわいい」など、ほめたり認め合ったりして、子どもたちの姿がとても微笑ましく感じられます。これからも発表する機会をたくさん持ち、子どもたちの自信につなげられるようにしていきたいと思います。